

薬剤科 DI ニュース

側管から投与する際、フィルターを通すべき薬剤、通すべきでない薬剤

平成 11 年度科学技術振興調整費 緊急研究で「高カロリー輸液など静脈点滴注射剤の衛生管理に関する指針」が発表されました。その中で、側管から投与する際の注意事項が記されていたので、下記に掲載します。(当院にないものも含む)

1. フィルターを通すべき薬剤

ペニシリン系抗生物質
セファロスポリン系抗生物質
抗悪性腫瘍剤 (ラステットを除く)
ケイツーN
メイロン注

2. フィルターを通すことは可能だが、投与前後に生理食塩液によるフラッシュを必要とする薬剤

ファンギゾン注
ラシックス注
ソル・メドロール注 500mg
ソル・コーテフ 500mg
ソルダクトン
アレビアチン注射液
イソミタールソーダ
ラボナール注

3. フィルターを通してはいけない薬剤

リポ化製剤 (リプル、ロピオン、アリプロスト)
サンディミュン
脂肪乳剤 (イントラリポス)
グリセオール
ヘspanダー
G-CSF 製剤 (ノイトロジン、グラン、ノイアップ)
ラステット

(砂田)